あなたならどう感じる?!

知ってほしい!認知症の人が見ている世界 ～認知症VR体験会～



認知症の方がどのような見え方、感じ方をしているか、VRで体験してみませんか？認知症の部分的な体験を通して、自分ならどのような気持ちになり、どのように声をかけてほしいか、どのように接してもらうと安心するか、日々のかかわりや認知症への価値観を考える機会になります。

《問合せ・申込み》高齢者支援課地域包括支援センター☎24-2409

開催日程

	午前	午後
12月17日(木)		○
12月18日(金)	○	
12月19日(土)	○	○
12月20日(日)	○	
12月21日(月)	○	

午前：10:00～11:30　午後：14:00～15:30

市役所立野庁舎1階多目的ホール(立野町12-12)で開催します。車の方はウエルストーク駐車場を利用してください。無料券をお渡しします。

市ホームページ▶

対象者

市内在住・在勤の方
市内の認知症の方を介護されている方　など

内容

2～5分のVR体験を行い、感じたことをグループ内で話し合います。
VRは3つのストーリーを予定

予約

電話または予約フォームから申込みをしてください。

予約フォーム▶

認知症になっても安心して暮らせるまちへ

住慣れた地域で安心して暮らし続けるために、豊岡市では、認知症高齢者の早期発見や日常的な見守りを進めています。あなたも「登録」や「あたたかい見守り」で輪に加わりませんか？

《問合せ》高齢者支援課地域包括支援センター☎24-2409

万が一、行方不明になった場合に備えます
認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業

▶**対象**：おおむね65歳以上で、認知症により行方不明になる心配のある方

▶**内容**：行方不明になった際、事前に登録された情報を基に、迅速に情報共有し、早期発見につなげます。

▶**事前登録の募集**

登録された方には、専用の登録番号付き反射ステッカーを配布しています。

▶**協力機関の募集**

日常業務の範囲内で「探している方を見かけたら情報提供する」という形で協力いただける事業所を募集しています。

▶**市民の皆さんへ～ステッカーを見かけたら～**

登録者の持ち物などに、見守り用のステッカーが貼られています。このステッカーを貼った方が困っていたり、道に迷っている様子を見かけたときは「何かお手伝いしましょうか？」と声かけをして、豊岡警察署や高齢者支援課に連絡をお願いします。



私たち一人一人ができること
ひょうご防災ネット

▶**内容**：行方不明者発生時に、捜索協力のお願い(行方の分からない方の特徴など)を「ひょうご防災ネット」を通じて配信します。

▶**協力のお願い**

市民一人一人が防災ネットに登録し、日々の暮らしの中で見守りや情報提供に協力をお願いします。

日常的な見守りの輪を広げています
とよおかホッと見守り隊

地域のあたたかい目で、日常のちょっとした変化に気づき、支え合う仕組みです。

▶**内容**：日常生活の中で高齢者を見守り「最近見かけない」「元気がない」といった変化に気づいた際の声かけや、関係機関への連絡を行います。

▶**協力機関の募集**

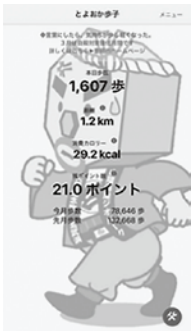
地域の一員として、日常業務の範囲内で見守りや情報提供に協力いただける事業所を募集しています。

歩いて健康！　地域を応援！　「歩キング」でポイントをためよう

市では、市民の皆さんの健康づくりを応援する“歩キング”を実施しています。

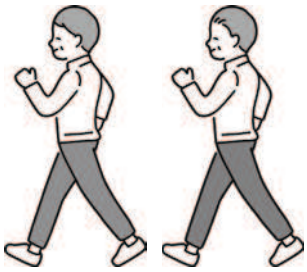
「運動健康ポイント制度」は、ご自身の体力に合わせた運動目標を決め、達成状況に応じてポイントがたまる仕組みです。ためたポイントは、市内の学校園や地域コミュニティ組織への寄付や、運動・温泉施設の利用券と交換できます。

《問合せ》健康増進課☎21-9095



▲とよおか歩子


▲運動健康ポイントシート



◀市ホームページ

利用の注意点

・スマホアプリ「とよおか歩子」と「運動健康ポイントシート」との併用は不可。
・「とよおか歩子」のポイント交換は寄付のみ。

2026年度の寄付申請締切

・2026年の寄付申請の〆切は2026年12月31日(木)です。※アプリ、シート共通。
・期限を過ぎてからの寄付申請については次年度の寄付として扱います。

2025年の寄付状況

2025年は延べ3,847人の方から1,773,636円の寄付申請を受け、市内60カ所の学校園と20カ所の地区コミュニティセンターに寄付しました。個人情報の観点から、寄付先に寄付者名はお知らせしていませんが、皆さんの温かい気持ちに対する感謝の声がたくさん届いています。

多様な人々と共に生きよう

～多様性を受け入れ、支え合うまちに～



共に暮らし、地域を活性化していく市民としてお互いの理解を深めるため、外国人市民の皆さんの豊岡での暮らしなどをシリーズで紹介します。

《問合せ》多様性推進・ジェンダーギャップ対策課☎23-0341

vol.23
孫　顕（ソン　エイ）さん

出身はどこですか。

中国のハルビン出身です。冬にたくさん雪が降る街で、世界三大雪まつりの「ハルビン氷祭り」があります。ライトアップされた氷の彫刻が美しいです。夏は涼しく、食べ物も豊富で、いろいろな味を楽しむことができます。

豊岡で好きなところや食べ物はありますか。

自然が豊かなところです。空気がきれいで、山や川を散歩するのが楽しいです。好きな食べ物は但馬牛料理とカニです。

（インタビュー：NPO法人にほんご豊岡あいうえお）

インタビューの詳細▲

わたしたちの障害福祉 9

「気づく」「声をかける」から始まる共生社会
～12月３日から９日は「障害者週間」です～

障害のある人への関心と理解を深め、障害のある人もない人も、互いに人格と個性を尊重しながら共に暮らす社会を目指すための週間です。

《問合せ》社会福祉課☎24-7033

知っていますか？　「ヘルプマーク」

街中や電車などで「ヘルプマーク」を見かけることがあります。

ヘルプマークは、義足や人工関節を使用している人、内部障害や難病のある人、妊娠初期の人など、外見からは援助や配慮が必要と分かりにくい人が、周囲に配慮を必要としていることを知らせるためのマークです。



ヘルプマークを見かけたら



「何かお手伝いできることはありますか？」と声をかけてみましょう。

電車やバスでは席を譲る、困っている様子の人には声をかけるなど、ちょっとした配慮が支えになります。

一人一人の小さな行動が、誰もが安心して暮らせる豊岡につながります。